

観点1	基礎・基本の定着
観点2	主体的に学習に取り組む工夫
観点3	内容の構成・配列・分量
観点4	内容の表現・表記
観点5	言語活動の充実

教科名	英語
第1推薦	2 東書
第2推薦	3 8 光村

(英語) 各教科書の主たる特徴及び意見

発行者名	主たる観点	主たる特徴
2 東書	観点1	「まとめと練習」で、「確かめよう」は肯定文・否定文・疑問文と基本文が提示してあり、「やってみよう」は2種類の練習問題がある。
	観点2	2ページで構成される各単元の各パートの右側のページの基本練習と <b>Speak</b> に、ペア等の活動が位置付けられている。対話例を示し、応答を助けるイラストがほぼ毎回添えられている。また、冒頭や各単元の間にも位置付けられている。
	観点3	第1学年導入期 (Hi, English! , 11項目, 17ページ)
	観点4	学習や表現のポイントを示す「学び方コーナー」や、項目ごとに分類した「1～3年 基本文一覧」を掲載している。
	観点5	4技能を統合的に活用させる言語活動として、 <b>Presentation</b> を設定している。
9 開隆堂	観点1	「英語のしくみ」で文法事項を細かくわけて説明がしてあり、それぞれに練習問題がついている。
	観点2	2ページで構成される各単元の各パートの左側のページの <b>Speak</b> と <b>Try</b> に、ペア等の活動が位置付けられている。対話例を示し、応答を助けるイラストや表が多く添えられている。また、冒頭や各単元の間にも位置付けられている。
	観点3	第1学年導入期 (Let's start, Program1, 10項目, 18ページ)
	観点4	巻末に「英語のつづり字と発音」や『英語で「できるようになったこと」リスト』を掲載している。
	観点5	4技能を統合的に活用させる言語活動として、 <b>My Project</b> と <b>Special Project</b> を設定している。
11 学図	観点1	「Check It Out」でこんな時にはこう言うという表現で細かな文法の説明・英文(色分け)が提示してある。
	観点2	2ページで構成される各単元の各パートの右側のページの <b>Speaking</b> に、ペア等の活動が位置付けられている。対話例を示し、応答を助けるイラストや表や写真がほぼ毎回添えられている。また、冒頭や各単元の間にも位置付けられている。

	観点3	第1学年導入期 (Pre lesson, Let's Star, 10項目, 15ページ)
	観点4	巻末に「位置」, 「体, 五感」などについての英語を絵とともに示した「More Words」や「つづりと発音」を掲載している。
	観点5	4技能を統合的に活用させる言語活動として, Chapter Project と Book Project を設定している。
15 三省堂	観点1	「文法のまとめ」で lesson ごとに文法が簡潔にまとめてある。例文や絵を使って説明している。
	観点2	2ページで構成される各単元の各パートの右側のページの Speak (話してみよう) に, ペア等の活動が位置付けられている。対話例を示し, 応答を助けるイラストや表が時々添えられている。また, 冒頭や各単元の間にも位置づけられている。
	観点3	第1学年導入期 7項目, 14ページ
	観点4	巻末に「絵でわかる英語のしくみ」や「CAN-DO リスト」を掲載している。
	観点5	4技能を統合的に活用させる言語活動として, Project を設定している。
17 教出	観点1	「英語のしくみ」で例文を示し, 英語と日本語に色をつけてわかりやすく説明してある。
	観点2	2ページで構成される各単元の各パートの右側のページの Speak に, ペア等の活動が位置付けられている。対話例を示し, 応答を助けるイラストや表や写真が多く添えられている。また, 冒頭や各単元の間にも位置づけられている。更に, 教科書とは別冊の Essentials が付属しており, その中の Plus Dialog や Plus Activity において, 多くのペアでの対話活動が単元順に活用できるようになっている。
	観点3	第1学年導入期 (Spring board, 10項目, 16ページ)
	観点4	巻末に「Can-Do 自己チェックリスト」を掲載しており, 別冊として, 36ページの冊子「Essentials」をつけている。
	観点5	4技能を統合的に活用させる言語活動として, Project を設定している。
38 光村	観点1	「Language Focus」の「整理しよう」では例文と説明, 「確認しよう」では会話形式や適語補充等多様な練習問題がある。またテキストを再度見返す Grammar Hunt がある。
	観点2	単元の各パート後の Try It!の中の Drill や Speak に, ペア等の活動が位置付けられている。対話例を示し, 応答を助けるイラストや表や写真が多く添えられている。また, 冒頭や各単元の間にも位置づけられている。更に巻末には, ペアの情報ギャップを生かした対話活動ができるような資料が載せられている。
	観点3	第1学年導入期 (Let's Enjoy English, 8項目, 15ページ)
	観点4	「長い英文を読む」などについて学習や表現のポイントを示す「Your Coach」や3年間の学習を振り返る「基本文一覧」(和訳付)を掲載している。
	観点5	4技能を統合的に活用させる言語活動として, Go For It!を設定している。